



2021年10月20日

各位

会社名株式会社 旅工房
代表者名 代表取締役会長兼社長 高山 泰仁
(コード番号：6548 東証マザーズ)
問い合わせ先 執行役員 岩田 静絵
コーポレート本部長

TEL. 03-5956-3044

合弁会社（連結子会社）設立のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において株式会社 DYM（東京都品川区、代表取締役社長：水谷 佑毅、以下「DYM」）との共同出資により合弁会社（連結子会社）を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の理由

オーダーメイドの旅を提供するトラベル・コンシェルジュ・カンパニー、株式会社旅工房（東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：高山 泰仁、以下「当社」）は、「世界で一番社会を変える会社を創る」というビジョンの基、世界で一番社会貢献のできる会社を目指す DYM と組み、旅行業界に従事している方々の再就職支援や旅行業界への就職を希望する新卒者の就職支援を目的とした合弁会社を設立することといたしました。

旅行業界はコロナ禍での厳しい状況により人員削減や新卒採用凍結など、一時的に人材の需要が減っておりますが、新型コロナ流行前には、政府が掲げた 2030 年の訪日外国人（インバウンド）6,000 万人の目標に向かって、大学および専門学校の観光科が増設されるなど、旅行業界人材の需要は高まっております。

今回、新卒の紹介や第二新卒の紹介に強みを持つ DYM と組み、旅行業界で働く、また旅行業界への就職を希望する人材の就職を支援することで、将来の旅行業界復活に貢献してまいります。

2. 合弁会社の概要

(1) 名称	未定
(2) 所在地	東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 46 階
(3) 代表者	高山 泰仁
(4) 事業内容	人材紹介事業
(5) 資本金	2,000 万円（予定）
(6) 設立年月日	2021 年 11 月（予定）
(7) 決算期	3 月

(8) 純資産	2,000 万円 (予定)
(9) 総資産	2,000 万円 (予定)
(10) 大株主及び持ち株比率	当社：51% 株式会社 DYM：49%
(11) 当社と当該会社との関係	資本関係 当社子会社となります。 人的関係 当社役職員が一部出向する予定です。 取引関係 該当事項はありません。

3. 合併相手先の概要

(1) 名称	株式会社 DYM		
(2) 所在地	東京都品川区西五反田 2-27-3		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 水谷 佑毅		
(4) 主な事業内容	WEB 事業 人材事業 研修事業 エグゼパート事業 ウェルフェアステーション事業		
(5) 資本金	5,000 万円		
(6) 株主構成	水谷 佑毅 (70.12%) その他 (29.88%)		
(7) 設立時期	2003 年 8 月 22 日		
(8) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財務状態			
決算期	2019 年 4 月期	2020 年 4 月期	2021 年 4 月期
純資産	2,111 百万円	3,349 百万円	4,067 百万円
総資産	6,140 百万円	7,572 百万円	8,923 百万円
1 株当たり純資産	84,325 円 38 銭	124,407 円 18 銭	151,054 円 2 銭
営業収益	978 百万円	930 百万円	1,073 百万円
経常利益	1,025 百万円	994 百万円	1,158 百万円
当期純利益	657 百万円	643 百万円	717 百万円
1 株当たり当期純利益	26,263 円 82 銭	23,886 円 92 銭	26,646 円 84 銭
1 株当たり配当金	0 銭	0 銭	3,715 円 0 銭
(9) 当社と当該会社との関係	資本関係 該当事項はありません。 人的関係 該当事項はありません。 取引関係 営業上の一般的な取引があります。 関連当事者への該当状況はありません。		

4. 日程

(1)	取締役会決議日	2021 年 10 月 20 日
-----	---------	------------------

(2)	契約締結日	2021年11月(予定)
(3)	合弁会社設立日	2021年11月(予定)

5. 今後の見通し

今期の業績に与える影響につきましては、現段階では軽微と考えております。今後、開示の必要性が生じた場合には、速やかにその内容を開示いたします。

なお、2022年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、日本から海外への渡航が難しい状況が続いており、従来、海外旅行商品の販売を強みとしてきた当社グループもその影響を受けており、月次で公表しております旅行業取扱状況速報の2021年4月から8月までの累計数値が前々年同期比3.0%と低調に推移しており、9月以降現在においてもこの状況が引続いております。このような状況の中、新たな事業ポートフォリオの確立を目指して、国内旅行の販売や、国内出張手配、MICE案件の取り込みを最優先とした収益拡大に努めておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により情勢が日ごとに変化しているため、現時点での合理的な業績予想の算定ができず、引き続き2022年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。

以 上